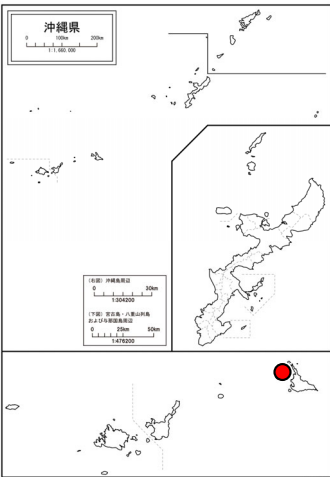


31.【陸域：漁業体験施設】用地交換による一体的な複合施設の整備：佐良浜漁港（沖縄県宮古島市）

概要

- 佐良浜漁港では、定期船の運航廃止に伴い漁港の利用形態が変化。また、荷さばき所の老朽化が顕著。
- 水産業や観光振興の拠点としての漁港機能を整備するため、老朽化した荷さばき所を処分し、あらたに荷さばき所、加工施設、食堂、直売所及び漁業体験施設を備えた複合施設を整備。また、複合施設として一体的に整備するために、補助用地と単独用地を交換して用地を確保。
- 水産業振興による経営改善や、地域内外の交流促進による地域活性化に寄与。



背景

- ・佐良浜漁港には宮古島と伊良部島を結ぶ定期船が就航していたが、平成27年1月の伊良部大橋開通に伴い定期船の運航が廃止。
- ・漁港の利用形態や機能の変化に合わせ、「憩い・レクリエーション機能の向上」、「地域内外の交流促進・活性化」、「水産業及び観光振興」の3つを整備方針とした佐良浜漁港利用計画を策定。
- ・交換に供しようとする土地には荷さばき所があったが、築38年を経過して塩害によりコンクリートの劣化が激しく老朽化が著しいため、新設を検討。

有効活用の内容

- ・水産業や観光振興の拠点づくりとして、佐良浜漁港に荷さばき所、加工施設、食堂、直売所及び漁業体験施設を備えた複合施設を新設。
- ・用地の確保にあたっては、食堂及び直売所が補助用地上に立地する配置計画であったため、佐良浜漁港の補助用地と他漁港の県単独用地を交換することで、複合施設として整備できるように対応。

活用した漁港施設	漁港施設用地（補助用地である佐良浜漁港の荷さばき所用地、製氷・冷凍及び冷蔵施設用地と、県単独用地である泡瀬漁港の道路用地を交換）
実施時期	平成28年度～平成29年度
実施主体	宮古島市
活用した事業	産地水産業強化支援事業
実施した手続き	用地交換

佐良浜漁港



効果

- ・水産業の振興による経営改善
- ・地域内外の交流促進による地域活性化

食堂利用者人数

平成30年
8,114人
令和元年
25,348人

食堂売上・利用者数

